

令和 6 年度進行管理・評価シート
長野市歴史的風致維持向上計画（令和 6 年 3 月 18 日認定）
（最終変更 令和 7 年 3 月 25 日）

口進捗評価シート(様式 1)

①組織体制(様式 1-1)

1 歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに 推進体制	1
---------------------------------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式 1-2)

1 長野市景観計画との連携	2
2 長野市屋外広告物条例との連携	3
3 長野市伝統環境保存条例との連携	4
4 長野市伝統的建造物群保存地区保存条例との連携	5

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式 1-3)

1 善光寺保存活用推進事業	6
2 戸隠地域建造物修理修景助成事業	7
3 戸隠伝統的建造物群保存地区防災対策事業	8
4 伝統環境保存事業	9
5 史跡松代城跡保存整備事業	10
6 旧横田家住宅防災施設整備事業	11
7 真田信弘霊屋保存修理事業	12
8 史跡大室古墳群保存整備事業	13
9 「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開 活用事業	14
10 無形文化財支援事業	15
11 伝統芸能継承事業	16
12 弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業	17
13 戸隠茅場整備事業	18
14 地域文化資源保存活用調査支援事業 (戸隠竹細工)	19
15 戸隠地域道路美装化・電柱電線類移設等整備事業	20
16 松代城跡東側駐車場整備事業	21
17 旧松代駅跡地周辺環境整備事業	22
18 北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業	23
19 大室古墳群アクセス道路整備事業	24
20 歴史的資源活用コーディネーター派遣事業	25
21 空き家バンク事業	26

22 公民館・交流センターでの歴史講座事業		27
23 松代歴史文化の発信・誘客事業		28
24 旧信濃川田駅保存活用事業		29
25 川田宿PR活用事業		30
26 鬼無里地域の伝統的な祭礼等PR事業		31
27 松代町文化財保存活用推進事業		32
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理 (活用)計画等)について		33
2 文化財の保存整備(修理、修景、復元等)について		34
3 文化財の防災に関する取り組みについて		35
4 文化財の周辺環境の整備について		36
5 文化財の保存及び活用の普及、啓発について		37
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 『歴史的風致維持向上』関係の報道 ほか		38
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 善光寺仁王門前の歩行者通行量の推移		39
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)		40

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	①歴史まちづくり法律第11条に基づき、有識者等で構成される「長野市歴史的風致維持向上協議会」を、計画策定後も引き続き設置し、本計画の推進・変更に関して、様々な提案・意見等を得ることとする。 ②歴史的風致の維持及び向上を目的とした庁内全体の連携体制を構築するために、関係各課の担当者によって構成される「歴史まちづくり推進会議」を適宜開催し、情報共有や問題点の抽出等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「長野市歴史的風致維持向上協議会」を2回開催し、計画事業の進行管理・評価及び第2期計画変更などについて協議し、幅広い意見を得た。 また、計画事業の関係部局を対象に「歴史まちづくり推進会議」を2回開催し、各事業の進捗状況の確認や情報等を共有し、庁内全体の連携体制を強化した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

1 長野市歴史的風致維持向上協議会の開催

●第1回 令和6年7月23日(火)

議題 (1) 長野市歴史的風致維持向上計画(歴まち計画)第2期の概要について

- (2) 歴まち計画の進行管理・評価 及び計画の変更について
 (3) 令和6年度の歴まち計画に係る事業について
 (4) その他

●第2回 令和7年2月10日(月)

議題 (1) 令和6年度 長野市歴史的風致維持向上計画(第2期)の進行管理・評価について

- (2) 令和6年度 長野市歴史的風致維持向上計画(第2期)の変更について
 (3) その他



第1回歴史的風致維持向上協議会(R6.7.23)

2 歴史まちづくり推進会議(庁内会議)の開催

●第1回 令和6年7月8日(月)

議題 (1) 長野市歴史的風致維持向上計画(歴まち計画)第2期の概要

- (2) 令和6年度実施の歴まち計画に係る事業
 (3) 令和6年度 第1回 長野市歴史的風致維持向上協議会の開催について
 (4) 歴史まちづくりに係る国の支援事業
 (5) その他

●第2回 令和7年1月16日(木)

議題 (1) 令和6年度 長野市歴史的風致維持向上計画(第2期)の進行管理・評価について

- (2) 令和6年度 長野市歴史的風致維持向上計画(第2期)の変更について
 (3) 令和6年度 第2回 長野市歴史的風致維持向上協議会の開催について
 (4) その他



第2回歴史まちづくり推進会議(R7.1.16)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
長野市景観計画との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	＜重点区域＞ ○善光寺周辺 重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上のために、景観計画と連携しながら、景観計画上の重点地区に設定するなど、地域の特性に応じたよりきめの細かい景観の誘導を検討していく。 ○戸隠 本計画において、戸隠五社や中社・宝光社の宿坊を中心とした独特の集落を含む一帯が重点区域に設定されたことから、今後は、この重点区域内を対象に、より詳細な景観の誘導を行うための検討を行っていく。 ○松代 重点区域内の特徴的なまちなみを活かすためにも、地域の特性に応じた景観形成基準の設定等を検討していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観計画担当との連携協議を実施した。 平成19年に策定した「長野市景観計画」(平成30年10月改定)に基づき、対象となる規模の新築・増築・改築等について届出義務を課し、高さや彩色等について誘導している。 景観計画に基づく行為の届出件数 令和6年度実績:29件(令和6年12月末現在 市全域)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
景観計画担当は、同じまちづくり課内であるため、随時、連携を図っている。 連携内容 ・歴史まちづくりと景観計画推進の体制について			
 			

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
長野市屋外広告物条例との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	〈重点区域〉 ○善光寺周辺 長野市屋外広告物条例では、歴史的な景観を有する地区等で、よりきめ細やかな景観の規制誘導を図るために、特別地区制度を設けている。今後、重点区域内においては、景観計画と連携しながら、よりきめの細かい地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。 ○戸隠 広範囲にわたって妙高戸隠連山国立公園戸隠地域戸隠管理計画区に指定され、屋外広告物の掲出についても一定の規制が設けられているが、宝光社地区の一部には、国立公園による規制と屋外広告物条例による規制のどちらにもかかっていない部分があり、善光寺門前の規制とともに、よりきめの細かい規制地区の導入について検討していく。 ○松代 重点区域内については、善光寺周辺と同様に、景観計画と連携しながら、特別規制地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
屋外広告物担当との連携協議を実施し、歴まち計画と良好な景観形成に関する施策との連携における課題と方針、各地区での取り組み等を共有した。 また、平成18年改正施行の「長野市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物を設置する際に、設置地区の規制区分及び屋外広告物の表示面積に応じて申請義務を課し、誘導している。 屋外広告物条例に基づく許可件数 令和6年度実績:602件(令和6年12月末現在 市全域)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
屋外広告物担当は、同じまちづくり課内であるため、随時、連携を図っている。 連携内容 ・歴史まちづくりと屋外広告物規制の体制について			
			

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
長野市伝統環境保存条例との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	松代城下町の歴史的かつ文化的な遺産としての伝統環境を保存し、次世代の市民に継承することを目的として、昭和58年(1983)3月に「長野市伝統環境保存条例」が制定されている。条例では、松代町四町(表柴町、代官町、馬場町、竹山町)を伝統環境保存区域として指定し、区域内の保存に関する保存計画を策定している。保存区域内で建築物(主屋、土蔵、門、塀など)、庭園その他の工作物の新築、増改築などを行う場合に、市へ届け出ることが必要であり、これにより、城下町の良好な景観形成を図っている。伝統環境保存区域の全域が本計画の重点区域内に含まれることから、引き続き条例に基づいて伝統環境の保存に努めていくとともに、都市計画や景観計画と連携しながら、周囲に広がる歴史的景観との調和についても検討し、さらなる歴史的風致の維持向上を図っていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
届出への審査指導や伝統環境の保全に寄与する建築物・工作物等保全へ補助することで、城下町の良好な景観形成と保全が図られている。補助制度を活用して歴史的まちなみに寄与する建物等を保全維持している所有者は、地元団体の松代地区中心市街地活性化協議会の「街なみ景観賞」として表彰されるなど、まちなみ保存に対する地域住民の意識向上にもつながっている。 ○令和6年度実績(令和6年12月1日現在) 届出件数:12件(新築10件、曳家移転1件、修理1件) 補助件数:1件(評価軸③-14) ○昨年度伝環事業の補助を受けて修理した樋口家表門が「城下町松代」街なみ景観賞を受賞した		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
伝統環境保存区域：約29ha		

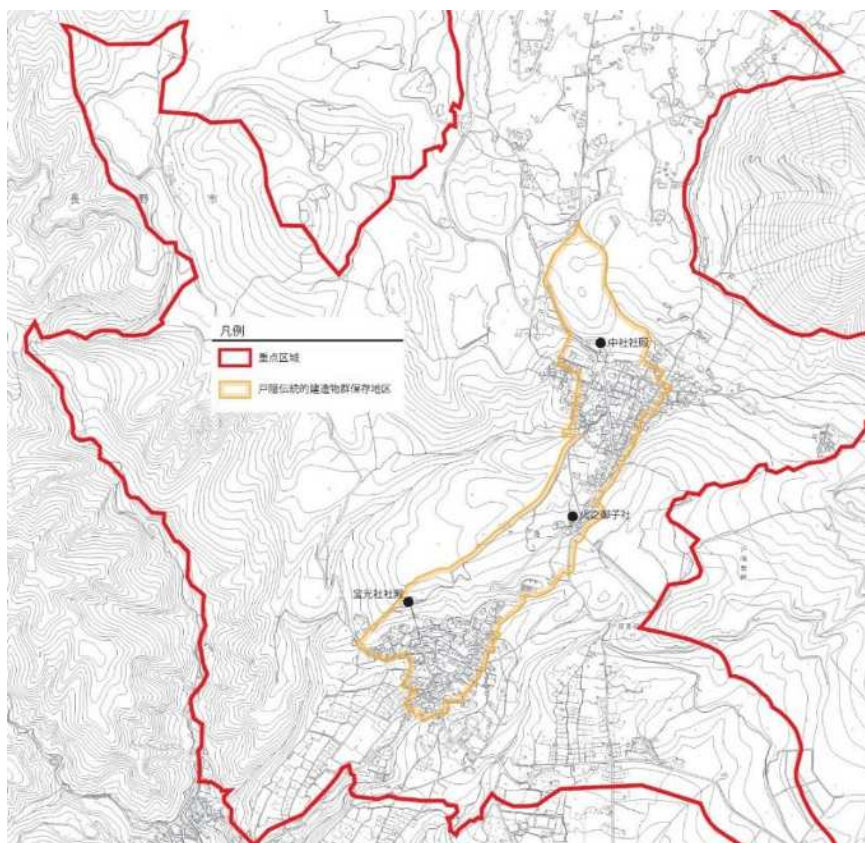
評価軸②-4

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
長野市伝統的建造物群保存地区保存条例との連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	長野市内の伝統的建造物群及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存するため、平成28年4月に「長野市伝統的建造物群保存地区保存条例」を制定した。 さらに、平成28年8月には条例に基づき、戸隠中社・宝光社地区の一部を長野市戸隠伝統的建造物群保存地区に決定し、同保存地区の保存に関する計画（保存計画）を策定した。保存計画では、伝統的建造物である宿坊や農家の主屋等の建築物や石垣等の工作物と共に、生垣や庭園、水路等を環境物件として特定し、保存のために行う措置を具体的に示している。 保存地区内で建造物の新築や増改築など、現状変更を行う場合には、事前に市長の許可が必要であり、これにより、戸隠神社門前の良好な景観形成、歴史的風致の維持向上を図っていく。	
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で		
現状変更に対して事前に内容を確認し、必要に応じて協議を行うことで、戸隠神社門前の良好な景観形成が図られた。 また、保存地区内における建造物を保存するため、所有者が行う修理費に対し補助することで、保存地区内の良好な景観形成が図られた。 ○令和6年度実績（令和6年12月1日現在） 許可申請件数：8件 補助件数：4件（評価軸③-6）		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

戸隠伝統的建造物群保存地区：約73.3ha



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
(1)-1 善光寺保存活用推進事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
【重点区域名称:善光寺地区】			

事業期間 令和2年度～令和13年度【第1期計画から継続】

支援事業名 国宝重要文化財等防災施設整備費補助金(国補助金)、文化財保護事業補助金(県補助金)、長野市文化財保護事業補助金(市補助金)

計画に記載している内容 善光寺本堂は、前回の大規模修理から30年以上経過しており、檜皮葺屋根の葺き替えや耐震対策、防災設備の更新等が課題となっている。加えて、多様な来訪者等に対応した情報発信や災害時の避難誘導など必要とされており、境内全域を対象に、「保存活用計画」及び「防災計画」に基づく保存活用推進事業を進める。
【実施箇所:善光寺】

令和6年度 事業内容

善光寺本堂等、境内域における防災計画に基づく防災施設整備に要する費用の助成

・雷サージ対策設備(SPD)の新設

・防災事業報告書の作成

善光寺境内の活用環境の強化

・善光寺本堂スロープ設置

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



善光寺本堂スロープ設置



善光寺保存活用計画の対象

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

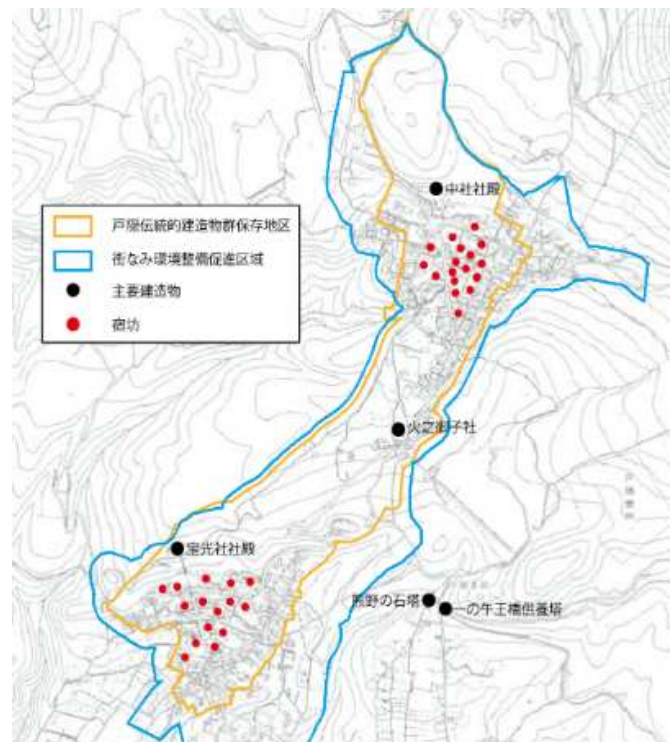
事業名		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(1)-2 戸隠地域建造物修理修景助成事業 【重点区域名称:戸隠地区】			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～令和13年度【第1期計画から継続】		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国補助金)、文化財保護事業補助金(県補助金)		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区に選定されている中社・宝光社地区において、宿坊や民家等の所有者が、保存計画に定められた基準に基づき、建造物等の修理及び修景を行う場合に経費の一部を助成する(伝統的建造物群保存地区保存事業補助金)。		
令和6年度 事業内容			
伝統的建造物群保存地区内の建造物等の保存修理事業への補助 4件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



宿坊の例



民家の例



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(1)-3 戸隠伝統的建造物群保存地区防災対策事業 【重点区域名称:戸隠地区】			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和4年度～令和13年度【第1期計画から継続】		
支援事業名	国宝重要文化財等防災施設整備費補助金(国補助金)、文化財保護事業補助金(県補助金)		
計画に記載している内容	長野市戸隠伝統的建造物群保存地区において、住民や来訪者の生命及び財産を災害から守り、歴史的な町並みを活かしたまちづくりを推進するため、ソフト・ハード両面から防災対策事業を実施する。		
令和6年度 事業内容			
防災計画に基づいた防災対策事業を地域住民と協力して実施する。 ・小口径消火ホース格納箱設置工事 ・防火水槽改修工事実施設計 ・外部通報システム基本計画策定 ・「耐震改修の手引き」作成 ほか			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



←小口径ホース格納小屋設置工事

「建物の地震対策ポイント講座」
実施の様子→

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(1)-4 伝統環境保存事業 【重点区域名称:松代地区】		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和59年度～令和13年度【第1期計画から継続】

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 江戸時代の良好な武家屋敷地としての地割りや建物が残るとともに、松代特有の水路である庭園や泉水がとりわけ多く残っている、表柴町、代官町、馬場町、竹山町の四町の伝統環境を保存し、後世に継承するため、伝統環境保存区域内で行われる開発行為に対して指導を行うとともに、伝統的な建造物や庭園等の修理・修景に対して、指導・助成等を行う(長野市伝統環境保存事業補助金)。

令和6年度 事業内容

伝統環境を構成する歴史的建造物や庭園・泉水の修理修景に対する指導・助成

・助成 1件

伝統環境保存審議会の開催(10月・3月)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



令和5年度補助で修理された薬医門の確認



令和6年度補助対象物件(泉水)の確認

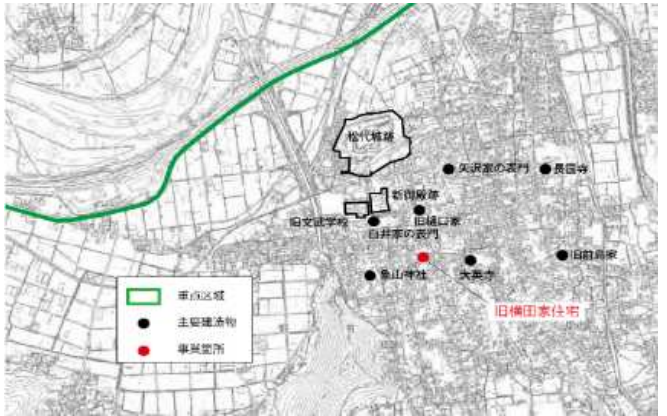
評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(1)-5 史跡松代城跡保存整備事業 【重点区域名称:松代地区】			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～令和11年度【第1期計画から継続】		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国補助金)、文化財保護事業補助金(県補助金)		
計画に記載している内容	史跡松代城跡において、保存活用計画及び整備計画に基づき、江戸時代の後半期の縄張り復元を目指して、土塁や堀等を史料・調査に基づいて整備を進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として活用するための環境整備を進める。		
令和6年度 事業内容			
調査に基づく保存整備及び利活用のための環境整備、情報発信等を実施 ・外周園路整備、二の丸遺構整備設計 ・石垣測量調査・発掘調査等の実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
外周園路整備工事		発掘調査の現地説明会(11月23日)	
			
石垣測量調査の状況		松代城跡第2期整備の概要図	

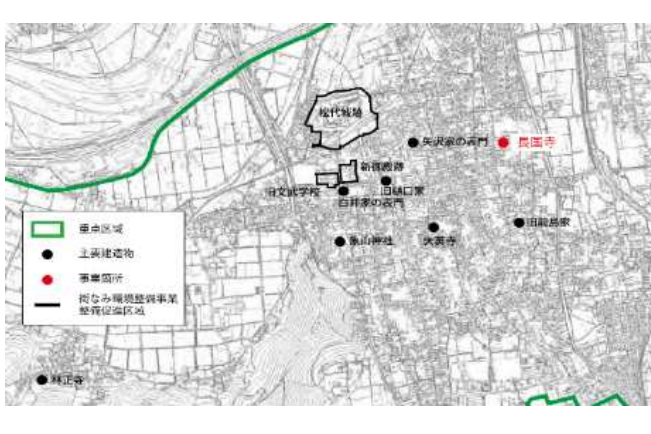
評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(1)-6 旧横田家住宅防災施設整備事業 【重点区域名称:松代地区】			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和4年度～令和6年度【第1期計画から継続】		
支援事業名	国宝重要文化財等防災施設整備費補助金(国補助金)、文化財保護事業補助金(県補助金)		
計画に記載している内容	松代城下町を代表する武家屋敷の一つである旧横田家住宅は、主屋及び隠居屋が茅葺屋根のため延焼被害を受けやすいことや、現状の管理体制・防災施設では火災の早期覚知と初期消火が困難であることから、消火設備を中心とした防災施設の整備を行う。		
令和6年度 事業内容			
重要文化財旧横田家住宅主屋ほか4棟について、消火設備を中心とした防災施設整備を行う。 ・防災施設整備工事、工事監理			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
防火水槽の増設		高粘度液体放射装置の新設	
			
自動首振式放水銃の動作試験		位置図	

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
(1)-7 真田信弘霊屋保存修理事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
【重点区域名称:松代地区】			
事業期間	令和5年度～令和7年度		
支援事業名	文化財保護事業補助金(県補助金)、長野市文化財保護事業補助金(市補助金)		
計画に記載している内容	真田家の菩提寺である長国寺には、県宝真田信弘霊屋のほか、重要文化財真田信之の霊屋、史跡松代藩主真田家墓所、県宝開山堂があり、一体となって真田家霊屋・墓所区域を構成している。このうち、老朽化が著しい県宝真田信弘霊屋について、所有者が実施する保存修理工事に要する経費の一部を助成する。		
令和6年度 事業内容			
保存修理工事に要する経費の一部を助成する。 ・屋根葺き替え工事への助成			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
信弘霊屋(宝殿)		信弘霊屋(表門)	
			
葺き替え後の屋根(宝殿)		位置図	

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(1)-8 史跡大室古墳群保存整備事業 【重点区域名称:松代地区】			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～令和13年度【第1期計画から継続】		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国補助金)、文化財保護事業補助金(県補助金)		
計画に記載している内容	平成25年度に完了した第1期整備(エントランスゾーン・施設整備ゾーン)に引き続き、積石塚古墳・合掌形石室が密集して分布する遺構復元整備ゾーン(面積:約42,000㎡ 古墳数60基)の古墳を修理して保存・継承を図るとともに、古墳周辺の自然環境を保全し、園路や説明板等の便益設備を整えて、見学者の利便性を高め、学校教育や生涯学習の場として利活用できるよう、整備する。		
令和6年度 事業内容			
古墳1基(172号墳)の保存整備工事及び工事監理業務委託の実施 古墳1基(173号墳)の保存整備工事に先立つ実施設計業務委託の実施 事業総額:12,000千円(国庫補助額:6,000千円、県費補助額:360千円)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	172号墳の保存整備に令和5・6年度の2カ年を要したため、次年度以降、1年間に複数古墳(2基)の整備を計画する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			
保存整備工事実施状況 (172号墳 正面から)		保存整備工事実施状況 (172号墳 背面から)	
			
実施設計対象古墳 (173号墳)		実施設計対象古墳 (173号墳)	

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(1)-9 「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業 【重点区域名称:鬼無里地区】			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～令和13年度【第1期計画から継続】		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市有形文化財(工芸品)である「彫工北村喜代松」制作の神楽・屋台を保存するとともに、その木地を生かした「一木彫り」による透かし彫りの龍や唐獅子、牡丹など優れた技術の情報発信を行う。 【事業箇所:鬼無里ふるさと資料館】		
令和6年度 事業内容			
毎年5月に行われる鬼無里神社の春の例大祭において巡行される北村喜代松制作の屋台について、鬼無里ふるさと資料館でその歴史や技術に関する展示解説を行い、普及を図るとともに、地元観光振興会と連携して観光客に向けた情報発信も実施した。 また、合併20周年記念事業の一環として、地元中学生による観光客への資料館の展示ガイド体験を実施した。 入館者数(11月末時点):令和6年度 2,681人(350人増)／令和5年度 2,361人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 ←鬼無里神社例大祭での資料館職員による屋台解説の様子(5/3)   ↑鬼無里中学校の生徒による展示ガイド体験の様子(10/31)			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(2)-1 無形文化財支援事業 【重点区域名称:善光寺・戸隠・松代・鬼無里地区】			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～令和13年度【第1期計画から継続】		
支援事業名	市単独事業(長野市文化財保護事業補助金)		
計画に記載 している内容	善光寺地区の善光寺木遣いや、戸隠地区の戸隠神社太々神楽、宣澄踊り、松代地区の大門踊、八橋流箏曲等は、無形文化財あるいは無形民俗文化財の指定を受けており、これらを保存・継承するためには、地域の若者や子供たちなどに、伝統的な祭礼に触れる場を積極的に提供するなどの方策が必要である。 無形文化財や無形民俗文化財の指定等を受けている、これらの伝統的な祭礼を保存・継承するため、無形文化財の保持者または保持団体及び無形民俗文化財の保護団体に対し、文化財の記録作成、伝承者養成、その他保存・公開に必要な経費の一部を助成する。		
令和6年度 事業内容			
市指定無形文化財保存団体への支援(補助) ・八橋流箏曲保存会 ・宣澄踊り保存会			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



宣澄踊り (戸隠地区)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度 現在の状況			
(2)-2 伝統芸能継承事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
【重点区域名称:善光寺・戸隠・松代・鬼無里地区】						
事業期間	平成28年度～令和13年度【第1期計画から継続】					
支援事業名	市単独事業					
計画に記載している内容	祖先の優れた文化活動の所産であり、長い年月の間に大切に守られてきた郷土の伝統芸能を保存・継承するため、その技術を後世に継承する活動を行っている団体に対し、用具の修理・更新、子供用具の購入、外部講師謝礼、体験教室の開催、指導用DVDの作成等に必要な経費の一部について助成を行う。また各団体間の交流や子供たちの参加を促すイベントの開催、活動団体の情報発信等を行う。					
令和6年度 事業内容						
・伝統芸能継承事業補助金(補助率2/3、上限100千円)予算額3,000千円 補助実績(R6.11現在) 31団体 2,481千円 ・ながの獅子舞フェスティバル(5月3日) 参加者 66団体 1,300人 ・伝統芸能こどもフェスティバル(10月26、27日) 参加者24団体 475人 来場者3,578人						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き広報、周知に努め、効果的な事業実施を目指す					
状況を示す写真や資料等						

【ながの獅子舞フェスティバル】



【伝統芸能こどもフェスティバル】



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(2)-3 弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業 【重点区域名称:善光寺地区】			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～令和13年度【第1期計画から継続】		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	弥栄神社の御祭礼で曳き回される屋台の巡行を支援するため、各町で保管している屋台や祭礼用具の組立及び解体、補修等に対して補助金を交付する。		
令和6年度 事業内容			
祇園祭における屋台巡行の毎年実施が復活し、13年が経過した。祭りに参加する屋台を一定数確保するとともに、祭礼の定着と発展を図るため、屋台の組み立て及び解体費用等の一部を助成した。 ○令和6年度実績 祭礼屋台事業補助金:6件(屋台6台の組立及び解体費用等の一部を助成)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



屋台巡行の様子
(権堂町の勢獅子と屋台)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(2)-4 戸隠茅場整備事業 【重点区域名称:戸隠地区】		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成26年度～令和13年度【第1期計画から継続】

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 戸隠中社・宝光社地区の歴史的町並みを構成する茅葺き屋根の建物を、今後も適切に保全していくため、資材となる茅の地区内確保を目的とし、中社地区内にある戸隠スキー場中社ゲレンデを茅場として整備する。また、定期的に茅刈りを行うことが、良質な茅場の整備に必要なことから、茅刈り体験イベントを毎年開催し、茅場整備とともに戸隠中社・宝光社地区がもつ魅力に触れる機会とする。

令和6年度 事業内容

戸隠スキー場中社ゲレンデにおいて、11/9・10に市と戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会など関係団体の協力による茅刈り体験を行うとともに、茅葺職人による指導の下で小屋作りを行い、歴史まちづくりや伝統技術に対する理解を深めた。(2日雨天中止)

また、11/5～15の11日間、戸隠中社・宝光社まちづくり協議会による茅刈りを行い、伝統技術の継承を図るとともに地区内の茅葺き屋根に使用する茅材を確保した。

○令和6年度実績:茅刈りイベント 参加者97名、地元住民茅刈り 延べ参加者100名 両方とあわせて約700束を刈り取り

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



会 場 戸隠スキー場中社ゲレンデ(ゲレンデ駐車場に集合)

参加費 1名につき1,000円(中学生以下は無料)

募集 各日先着40名
(各日、2名まで申し込みが必要。中学生以下は保護者同伴)

服装等 長袖・長ズボン・汗拭き手袋・帽子・長靴など

持ち物 昼食、飲み物、鎌(鎌が無い方には貸し出しします)

日 程 体験内容は各日とも同じ 雨天中止

9:30 - 受付開始
10:00 - 12:00 茅刈り体験
(昼食休憩)
13:30 - 15:30 茅刈り体験 & 縄文小屋づくり
16:00 終了

★参加された方には、協賛店にて利用できる「戸隠そばチケット」(1,000円分)、戸隠スキー場「一日リフト券」、
「戸隠茅場体験オリジナル手ぬぐい」をプレゼント!!

【オプション企画】茅の魅力を楽しく語る交流会(先着20名)
歴史ある茅葺き屋根の宿坊を会場に、茅葺き職人や地域のひとと茅の魅力について楽しく語ります!
日時:11月9日(土)18:00~ 会場:根倉旅館(長野市戸隠3347) 参加費:3,000円
※希望者数に宿泊を希望する方は、直接各ホテルへご連絡ください(茅刈り体験参加者であることをお伝えください)

申込方法 お申し込みは専用フォーム(右QR)からお願いします。
【参加申込フォームURL】 <https://forms.gle/Ly9Q2yRe9pFZSaNYA>
※ 同意確認のため、電話でのお申し込みは受け付けておりません。

問い合わせ:一般社団法人 戸隠観光協会 TEL: 026-254-2888 mail: info@hogokusan-21.jp
主催:戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会 / 共催:(一社)戸隠観光協会 / 協力:(株)戸隠、(株)縄文屋、木村板金、横倉旅館



令和6年度
茅刈り体験の様子

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(2)-5 地域文化資源保存活用調査支援事業(戸隠竹細工) 【重点区域名称:戸隠地区】			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和5年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	戸隠地区の貴重な文化資源である戸隠竹細工の次世代への継承を図るため、ヒアリング調査及び史料調査によりその伝統的技法を記録するとともに、戸隠竹細工の認知度を高めてその価値や魅力を内外に広くアピールするため、プロモーション活動の支援を行う。		
令和6年度 事業内容			
竹細工関連の歴史資料調査及び竹細工製品の製作工程・道具等の調査を行う。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

調査にご協力を!!
100年以上前の竹細工製品を探しています!!

戸隠中社竹細工生産組合と長野市では、現在長野県の伝統工芸品に指定されている戸隠竹細工の国の伝統的工芸品への指定を目指し、その製作技術の特徴や戸隠竹細工の歴史について調査しています。そのなかで昔に作られた竹細工製品を探しています!

昔の写真も探しています!!
 竹細工が写っている戦前までの古い写真も探しています。アルバムの中にこのような写真がありましたらご連絡ください!!

皆さまの納屋や上蔵の片隅に、写真のような竹細工製品がございましたら、戸隠支所または文化財課までご一報ください!!

戸隠支所(松沢)
 TEL 026-254-2323 FAX 026-254-2420

文化財課(細井・塚原)
 TEL 026-224-7013 FAX 026-224-5104
 E-mail: bunka@city.nagano.lg.jp

竹細工調査のため作成配布したチラシ

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

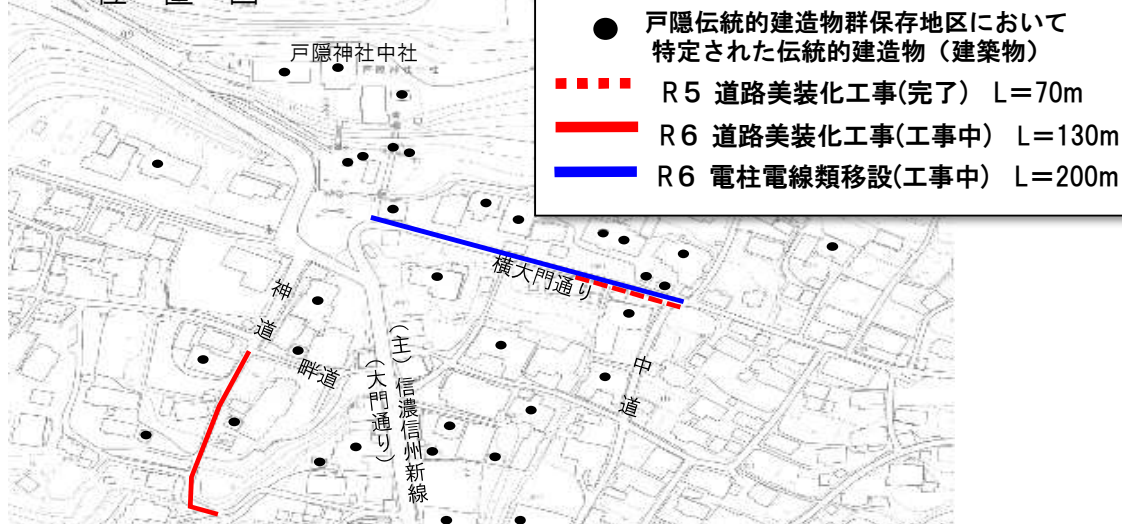
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

道路美装化：戸隠北31号線中社横大門通り 完了区間



丁事完了

凡例



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
(3)-2 松代城跡東側駐車場整備事業 【重点区域名称:松代地区】			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～令和13年度【第1期計画から継続】		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	松代地区に訪れた観光客のための駐車場の台数を確保し、松代中心市街地への自動車の流入を防ぐため、松代城跡東側駐車場の整備を行う。		
令和6年度 事業内容			
松代城跡周辺整備の協議の中で、駐車場の整備計画について検討した。また、暫定的に観光用駐車場として活用し、中心市街地への自動車流入の制御を図ったほか、地元有志によりイベント会場として活用された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 観光用駐車場としての利用状況			
 イベントでの活用状況			

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
事業名		現在の状況
(3)-3 旧松代駅跡地周辺環境整備事業 【重点区域名称:松代地区】		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～令和13年度【第1期計画から継続】	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	松代城跡第2期整備計画及び周辺環境整備計画で、長野電鉄旧屋代線松代駅の跡地利用として、駅の歴史を伝え、交通結節点としての環境整備を進める。	
令和6年度 事業内容		
・松代城跡第二期整備計画及び周辺環境整備に関して、地元の検討結果を踏まえ、地元及び庁内関係課と打合せを行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
1 松代城跡第2期整備検討委員会 ワーキンググループ検討会 (1) 令和6年5月7日(火) 【内容】 松代城跡周辺環境整備等にかかる協議	駅舎の活用 (地元NPO法人による観光情報コーナーの設置)	
2 庁内調整会議 松代城跡及び周辺整備調整会議 (1) 令和6年4月26日(金) (2) 令和6年5月1日(水) 【内容】 松代城跡周辺環境整備等にかかる協議		
3 駅舎等の活用事例 (1) 観光情報コーナーの設置 通年 【内容】 地元NPO法人による観光情報等の展示	(第7回松代町かしコンクール表彰式)	
(2) 松代町かしコンクール表彰式 令和6年11月9日(土) 【内容】 地域住民が制作した「かし」について 地元実行委員会が町内でコンクールを開催 駅舎にて上位作品の表彰式を実施		

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(3)-4 北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業 【重点区域名称:松代地区】			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～令和13年度【第1期計画から継続】		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)(令和3年度～令和6年度)、市単独事業		
計画に記載している内容	北国街道松代道周辺の文化財や歴史的建造物等をゆったりと周遊できる道を整備するため、平成24年(2012)3月に廃線となった長野電鉄旧屋代線の線路敷きを活用した自転車道・遊歩道としての整備を行う。		
令和6年度 事業内容			
・自転車道・遊歩道道路測量設計業務委託及び道路築造工事 L=0.68km ・令和5年度末現在の整備実績 進捗率 35.7%(整備済 約3.5km / 計画延長 約9.8km)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
自転車道・遊歩道測量設計委託 実施箇所位置図(町川田工区)			
			
			

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(3)-5 大室古墳群アクセス道路整備事業 【重点区域名称:松代地区】		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成28年度～令和9年度【第1期計画から継続】

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 国の史跡大室古墳群について、周辺の歴史文化資産を含めた史跡一帯の利活用を促進するため、国道403号線から大室古墳群まで、大型バスが通行可能なアクセス道路の整備を行う。

令和6年度 事業内容

地権者や住民(大室古墳群アクセス道路整備対策委員会)と協議調整し、道路整備事業を推進する。

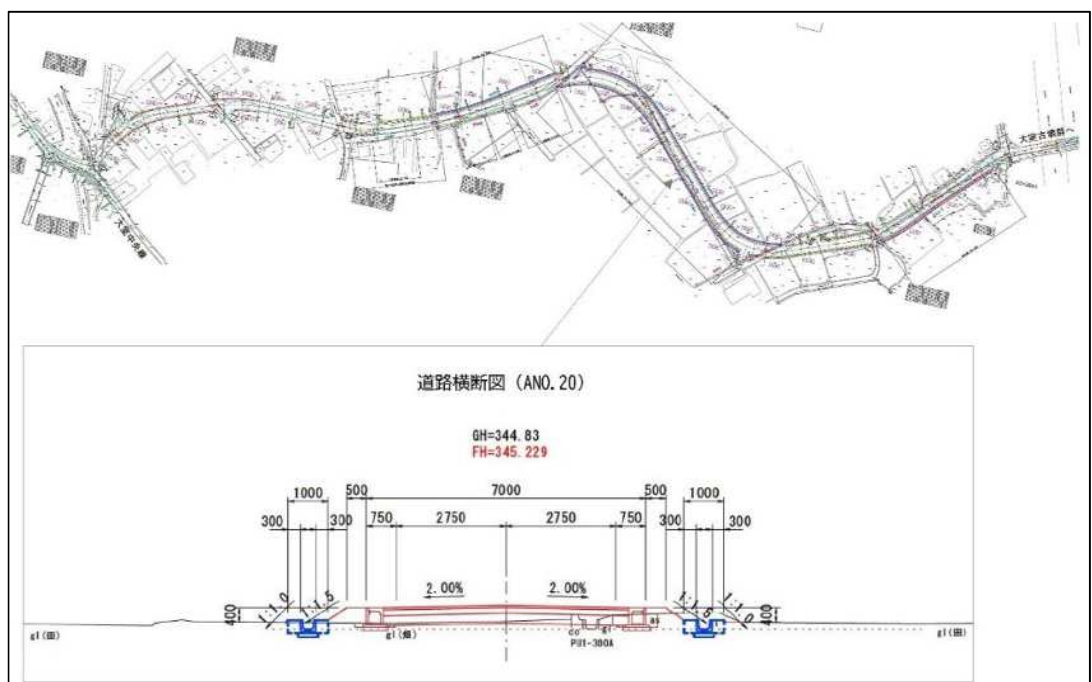
・用地測量(線越)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



境界立会の様子



道路設計図

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(4)-1 歴史的資源活用コーディネーター派遣事業 【重点区域名称:善光寺・戸隠・松代・鬼無里地区】			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～令和13年度【第1期計画から継続】		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	住民主体のまちづくりを支援するため、歴史的まちなみを活かした良好なまちなみ形成を目指す住民組織等に対して、外部の専門家や有識者を派遣する事業		
令和6年度 事業内容			
鬼無里地区において、伝統的な祭礼に関する情報発信や担い手の確保などに取り組んでいるまちづくり団体にに対し、ウェブサイトやSNSを活用した情報発信に関する専門家を講師として派遣し、参加者と一緒にSNSの活用方法などの情報交換を行った。さらに連携を強化しながら令和7年度から新たに伝統的な祭礼に関する情報発信を始めることを決めるなど、地域主体の歴史まちづくり活動への支援を行った。 ○令和6年度実績:コーディネーター派遣人数 1人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

【鬼無里地区での講演の様子と資料】



▼鬼無里地区の魅力発信をウェブサイトで実施



評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和6年度	
事業名	
(4)－2 空き家バンク事業	
【重点区域名称:善光寺・戸隠・松代・鬼無里地区】	
現在の状況	
☐ 実施済	
☒ 実施中	
☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～令和13年度【第1期計画から継続】
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	空き家となっている利活用可能な住宅のうち、売却・賃貸を希望している所有者の物件を登録し、空き家情報としてホームページ等を通じて広く情報提供を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
定量的評価基準としての重点区域内における空き家バンク登録件数(令和5年12月1日～令和6年11月30日)は次のとおり	
重点区域内における空き家バンク登録件数:6件 (内訳)善光寺・戸隠:2件、鬼無里:1件、松代・若穂川田:3件	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している	
☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(4)-3 公民館・交流センターでの歴史講座事業 【重点区域名称:善光寺・戸隠・松代・鬼無里地区】		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 ~令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
市立公民館及び市立交流センターにおいて、地域の歴史を楽しく学ぶことにより、郷土の特性や魅力を見直し、その良さを再認識していく講座を実施。
【実施箇所:市立24公民館、市立5交流センター】

令和6年度 事業内容

市立公民館及び市立交流センターにおいて、地域の歴史を楽しく学ぶことにより、郷土の特性や魅力を見直し、その良さを再認識していく講座を継続的に実施する。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	60・70代の参加者が非常に多いが、講座のテーマや開催方法によっては、30代以下の参加もある。若年層の参加を増やせるような講座の実施を検討していく。

状況を示す写真や資料等

市立公民館及び市立交流センターにおいて、地域の歴史を楽しく学ぶことにより、郷土の特性や魅力を見直し、その良さを再認識していく講座を実施。

<令和6年度における歴史講座の実施状況> 令和6年11月末現在

テーマ	館数	講座 実施日数	延参加人数	参加者の年代別割合			
				30代以下	40・50代	60・70代	80代以上
善光寺	7	11	173	3%	6%	78%	13%
松代	4	15	433	5%	6%	70%	19%
戸隠	6	7	94	15%	3%	55%	27%
鬼無里	1	1	14	0%	0%	64%	36%
合計	18	34	714	5%	5%	60%	30%
重点区域外	5	12	304	13%	6%	61%	20%

※合計館数は、重複分を除く実数。

※参加者の年代は、アンケート実施結果からのもの。

<令和6年度 成人学校・教養講座>

・郷土史「善光寺」 城山公民館 2期24回 受講生12名

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(4)-4 松代歴史文化の発信・誘客事業 【重点区域名称:松代地区】			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成22年度～令和13年度【第1期計画から継続】		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	「NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会」が、松代の歴史・文化を発信し誘客に繋げることを目的に実施している、まち歩き推進事業、交流ネットワーク事業、広報・出版・情報発信事業、まち歩きセンター運営事業等に対して、信州松代観光協会を通じて助成を行う。		
令和6年度 事業内容			
信州松代観光協会を通じて、松代地区全体を歴史的遺産と見立て、地域資源の掘り起こし、磨き上げ、情報発信を行っている「NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会」の活動補助を行った。 ○R6年度活動実績 まち歩きツアー 6回開催 参加者合計122名 視察受入 21回開催 参加者合計 674名 まちづくり研究会 8回開催 参加者合計103名 松代学講座 6回開催 参加者合計153名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



まち歩きセンター



まち歩きツアーの様子

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(4)-5 旧信濃川田駅保存活用事業 【重点区域名称:松代地区】			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～令和13年度【第1期計画から継続】		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	大正11年(1922)建築の長野電鉄旧屋代線信濃川田駅について、地域住民が主体的に利活用できるよう支援を行う。		
令和6年度 事業内容			
・駅舎の利活用方法等について、地元と協議を行った。 ○令和6年度 ・川田まちづくり委員会 意見交換他			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
1 地元との協議 (1) 川田まちづくり委員会との意見交換 令和6年10月30日(水) 【内容】① 千曲川新道整備について ② 駅周辺環境整備事業の取組について 2 駅舎等の活用事例 (1) ミニギャラリーの設置 通年 【内容】地元住民による写真等の展示 (2) イベントの開催 令和6年7月20日(土) 【内容】川田夏祭りの開催 (3) 学校授業の会場 令和6年11月12日(火) 令和6年12月19日(木) 【内容】総合的な学習の会場		旧信濃川田駅舎内の活用事例 「写真等の展示」  「地元小学校による総合的な学習の会場」 	

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
(4)-6 川田宿PR活用事業 【重点区域名称:松代地区】		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成26年度～令和13年度【第1期計画から継続】

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 「川田宿ガイドの会」は、江戸時代に北国街道松代道の宿場であった「川田宿」の歴史的まちなみや伝統的な祭礼行事を、地域の小学生など地域住民や来訪者に伝え、地域の誇りとして広く認知してもらうため、ガイドマップを作成し、マップを活用したまち歩きガイドを行うなど、主体的な活動に取り組む。
市は、活動の情報発信など、継続した支援を行う。

令和6年度 事業内容

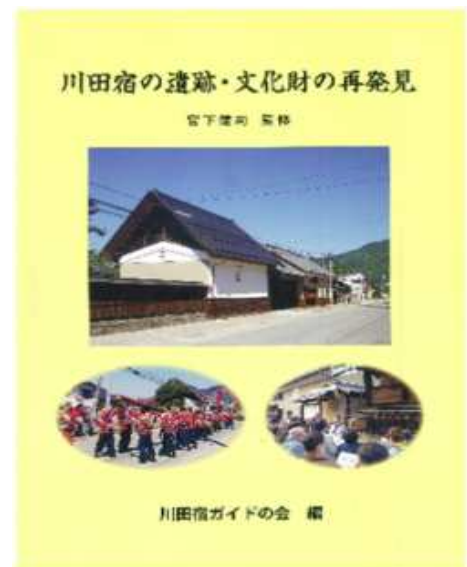
・「川田宿ガイドの会」により定例会の開催や研修会、地元小学校の社会学習でのガイドなどの活動を行った。
令和6年度:ガイド活動3回 延べ66名

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	川田宿ガイドの会との連携、活動の支援を行い、松代道の宿場・川田宿のPR、活用を図る。

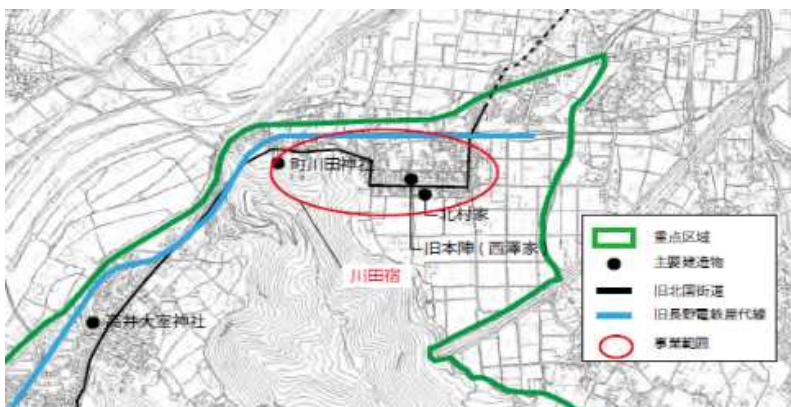
状況を示す写真や資料等



研修会でのガイドの様子



冊子「川田宿の遺跡・文化財の再発見」
令和3(2021)年1月12日 発行



評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
(4)－7 鬼無里地域の伝統的な祭礼等PR事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
【重点区域名称:鬼無里地区】			
事業期間	平成25年度～令和13年度【第1期計画から継続】		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	白髯神社の祭礼、鬼無里神社の祭礼、諏訪神社の御柱祭をはじめとした鬼無里に伝わる伝統的な祭礼等について、鬼無里観光振興会と連携し、ホームページやSNS等を活用した情報発信を行う。		
令和6年度 事業内容			
鬼無里観光振興会と連携し、振興会ホームページやX、Facebookで、鬼無里地区の寺社仏閣と祭礼等について、積極的なPR活動を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
鬼無里観光振興会と連携したPR活動 			

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業名		評価対象年度	令和6年度
事業名		現在の状況	
(5)-1 松代町文化財保存活用推進事業 【重点区域名称:松代地区】			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～令和13年度【第1期計画から継続】		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	長野市内で、文化財施設が特に多く集積する松代地区において、文化財施設を活用したまちづくりを推進するため、文化財ボランティアの育成やボランティアの会の活動支援、同会と協働による市民ワークショップの開催等を推進する(社会教育関係事業補助金)。 また、松代地区における文化財施設の中核施設である真田宝物館について、施設の老朽化が進んでいるほか、収蔵庫の不足等の諸問題が生じているため、真田宝物館の建て替えを含めた、松代地区全体の文化財を活用するための調査研究を行う。		
令和6年度 事業内容			
真田宝物館の建て替えに向けて、引き続き地元や庁内の調整、調査・研究を進める。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
真田宝物館			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理(活用)計画等)について	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財は指定・未指定に関わらず、長野市の歴史と文化を理解する上で不可欠なものであり、幅広く情報を収集し、地域固有の財産として未来に受け継いでいくための取り組みを進める必要がある。具体的には、文化財の調査を行い、価値が認められたものについては、市の指定・国の登録制度等の活用を検討する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○令和6年度 ・令和6年3月15日に国の文化審議会において、国の登録有形文化財(建造物)として、「白髯神社拝殿」(長野市鬼無里日影)「離山神社本殿」「離山神社拝殿・祝詞殿及び上屋」(長野市松代町清野)が登録の答申を受けた。(令和6年8月15日告示)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		



白髯神社拝殿



離山神社本殿



離山神社拝殿



離山神社拝殿・祝詞殿及び上屋

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
文化財の保存整備(修理、修景、復元等)について	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	国指定等文化財の現状変更を伴う大規模な修理や整備等を実施する場合には、文化財保護法及び関係法令を遵守し、適切な手続きをとるとともに、文化庁や長野県との連携のもと、整備委員会を設置して、専門の有識者より指導助言を得ながら実施する。県・市指定文化財については、地方文化財保護審議会の専門委員より適宜指導助言を得ながら修理等を実施する。長野市の歴史的風致を形成する歴史的風致形成建造物に指定するものについては、保存・活用のための修理に必要な支援を行っていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
下記の指定文化財の建造物・記念物等について、文化庁等の指導の下、計画的に保存修理を実施することにより、適切な保存活用を図ることができた。 ○令和6年度 ・指定文化財の保存整備事業 - 国指定：史跡松代城跡保存整備、史跡大室古墳群保存整備、重要文化財旧横田家住宅防災施設整備 - 市指定：旧作新学校本館保存修理 ・指定文化財の保存修理助成事業 - 国指定：国宝善光寺本堂ほか保存活用・防災施設整備事業助成 - 県指定：県宝真田信弘霊屋保存修理事業助成 ・重要伝統的建造物群(戸隠地区)の保存修理助成事業		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 旧横田家住宅防災施設整備  旧作新学校本館保存修理  県宝真田信弘霊屋保存修理		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
文化財の防災に関する取り組みについて	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	定期的に文化財パトロールを実施し、所有者・管理者と消防局による防火点検や、地元消防団の放水訓練などを行い、日常的に防災意識の高揚と火災被害の軽減を図る。さらに、防犯対策として、文化財所有者への防犯意識の徹底を図る。 文化財の耐震診断と耐震補強工事や、消火設備、避雷針設備等の防災設備設置工事等の推進を図るとともに、日常的な維持管理や所有者への注意喚起等により、美術品等の防犯対策を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○令和6年度 - 文化財パトロールの実施 - 国・県指定等文化財: 年1回(パトロール員3名/37件) - 市指定文化財: 年1回(パトロール員25名/83件) ※文化財保護協会と連携 - 消防訓練の実施 - 善光寺(文化財防火デー、令和6年1月26日) - 国宝善光寺本堂ほか防災施設整備事業助成 - 戸隠伝統的建造物群保存地区における防災施設整備・防災マニュアルの作成・防災訓練の実施・防災ワークショップの開催 - 重要文化財旧横田家住宅防災施設整備		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 文化財防火デー（善光寺 ※写真は令和6年1月のもの）  文化財パトロールの様子  戸隠伝統的建造物群保存地区 防災ワークショップの様子		

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
文化財の周辺環境の整備について			現在の状況
			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	歴史的風致の維持及び向上を図るために実施する電線類地中化・道路美装化事業ないし水路等の整備事業、文化財の管理活用を目的とする便益施設等の設置においても文化財及びその周辺の歴史的景観との調和を図る。
	〈善光寺周辺・戸隠地区〉 ・道路や河川などの公共施設については、電線類地中化や道路の美装化によって、歴史的建造物と一体となった良好な整備を行っていく。 〈松代・若穂川田地区〉 ・電線類地中化や道路の美装化等を順次進めていく。 〈鬼無里地区〉 ・神社や寺院、民家等には古い建造物が多く残され、これまでに大規模開発も行われていないため、文化財の周辺環境も保全されているが、なお一層の地域住民の保全意識向上を図り、環境の保全に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財及びその周辺の歴史的景観との調和を図った。

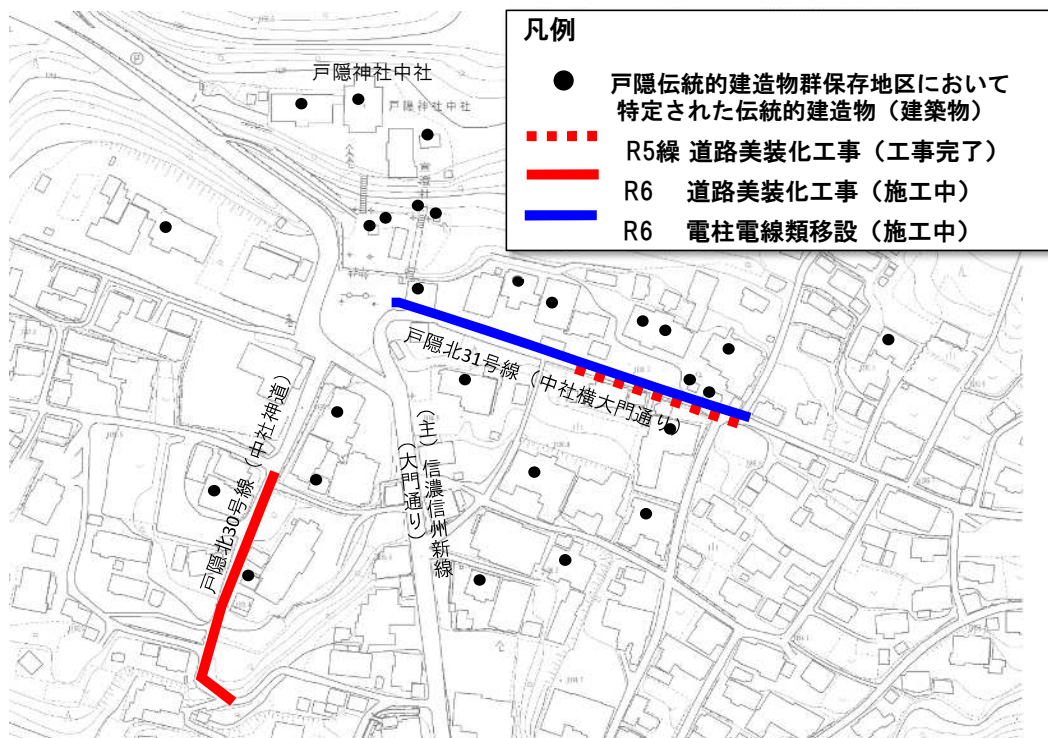
令和6年度実施内容

戸隠地区…道路美装化・電線電柱類移設(評価軸③-15)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

戸隠北31号線(中社横大門通り)：道路美装化・電柱電線類移設実施箇所



評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及、啓発について	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の非公開部分を対象とする期間限定の特別公開や、修理工事中の現地説明会、出前講座等を実施し、分かりやすい文化財情報の発信に努める。市内の各種団体も、住民と連携して文化財めぐりや講演会等を行っており、今後もこうした取り組みを続けていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○令和6年度 ・長野市の文化財についての出前講座(地域公民館等で年3回開催) ・戸隠伝統的建造物群保存地区修理・修景事業現場見学会(10/16、10/28 一般・建築士など参加者数延べ30名) ・史跡松代城跡発掘調査現地説明会(11/23 参加者数約150名) ・戸隠茅刈り体験会(11/9 39名、11/10 58名、参加者数延べ97名) ・文化財保存活用地域計画認定記念シンポジウム(R7.1.18長野市芸術館アクトスペースにて開催予定) ・門前まち巡見(R7.1.18 開催予定)		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
   		

項目

善光寺仁王門前の歩行者通行量の推移

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歩行者通行量の推移は、調査日の天候や新型コロナウイルス感染症感染拡大などの例外的な要素により、大きく影響を受けるものと考えられ、これまで実施してきた善光寺周辺地域道路美装化事業、善光寺周辺地域電線類地中化事業、善光寺表参道地域交流拠点整備事業、城山公園再整備事業などの歴史的風致維持向上計画に基づく各種事業と歩行者通行量の増減の関連性の特定が困難である。

そのため、各種事業が歩行者通行量に与える影響をより長期的な視点で捉える必要がある。

○令和6年度実績

善光寺仁王門前の歩行者通行量調査(毎年10月第3日曜日実施) 歩行者人数:31,951人

【考察】令和6年度の調査では、善光寺仁王門前はコロナ前を上回る歩行者数となり、3万人を超えている。

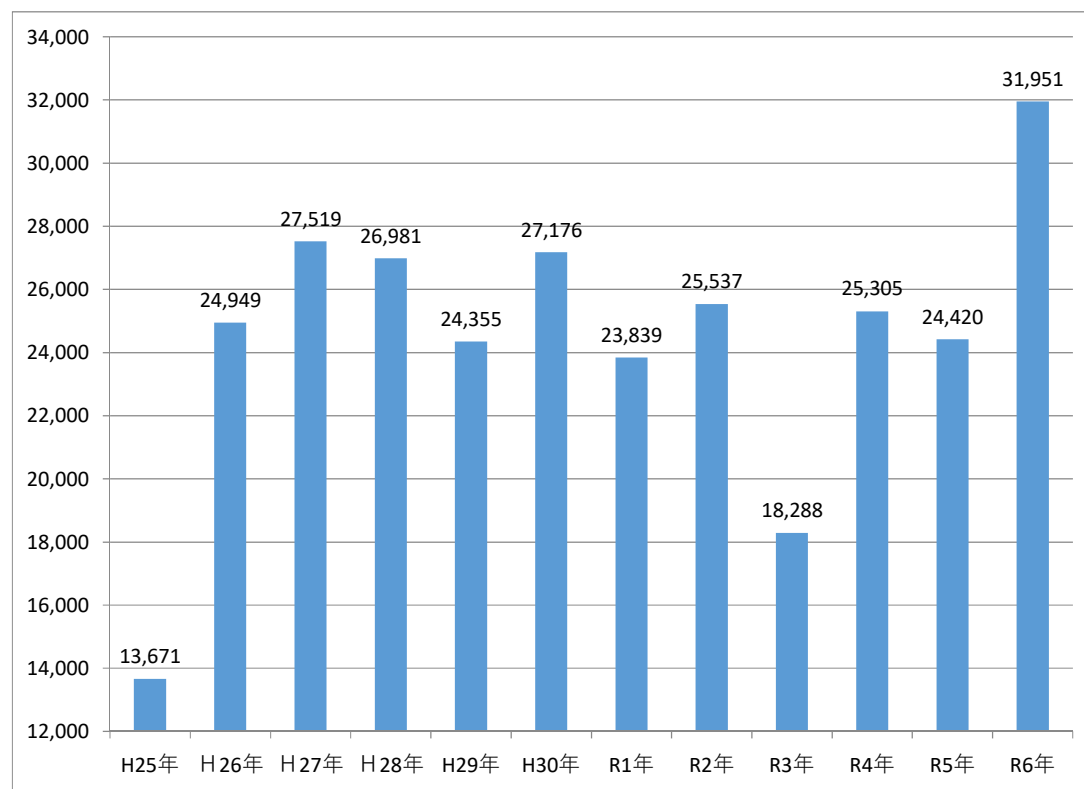
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



善光寺仁王門前歩行者通行量調査 (H25～R6)

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称 : 令和6年度 第2回長野市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時 : 令和7年2月10日(月) 午前10時から午後0時5分まで	
(コメントの概要) ・(1)ー9、「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業について、合併20周年記念事業の一環として、地元中学生による観光客への資料館の展示ガイド体験を実施したことにより、入館者数が前年度、令和5年度の2,361人から350人の増につながっている。この取り組みを参考に、他の事業でも何かできることがあるのではないかと考える。 ・(2)ー3、弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業について、数年前、建築士会ながの支部では、大工さんたちに集まってもらい弥栄神社の御祭礼屋台の解体や組み立て実習会をトイゴ広場で行った。人手や担い手が市全域で不足する中で、お祭りを背負っていく連携をしないとお祭りを保存していくことが難しいのではないかと考える。そこで、ソフト事業に関し、今まで行ってきたことから、もう1歩広げて何か工夫できるのではないかと考える。 ・(2)ー1、無形文化財支援事業について、以前、松代の大門踊りの伝承者が少なくなり、そのオリジナルの踊りが踊れなくなったときに、記録映像を見ながら復活させた取り組みがあった。伝承者を育てることも一義的に大事であるが、事前策として映像記録を残しておくことが重要ではないかと考える。 ・(3)ー3、旧松代駅跡地周辺環境整備事業について、来年度の解体が決まりつつあるという説明があった。現在、駐車場のバス停留所は松代中学校の生徒が待合として使用している。この場所は松代城下町の玄関口に位置し、国の史跡である松代城跡に合ったたたずまいが必要であることから、旧松代駅舎解体後、修景的な対策を含めた代替の待合所が必要ではないかと考える。 ・(3)ー3、旧松代駅跡地周辺環境整備事業に関連し、地元及び庁内関係課と打ち合わせを行ってと書いてあるが、松代の観光や今後の活性化のための全体図をどこで作成しているのか。全体的に何かテコ入れしていかないと、地域が活性化する状態にならないと思う。どのような目標に対し、到達点などはどのように計画しているのか。 ・4、歴史的風致を生かした観光振興、地域活性化に関する事業について、松代が目指すべき目標を持つべきだと思う。これまで公的資金を投入し、道路整備や古墳周りの自転車道、遊歩道などを整備してきたが、何かプチン、プチンとそれぞれの事業が分断され、根本的に目指すところに到達できていないと思う。松代が持っている多くの資源を生かすために、どういうところに行くというものを新たに付け加えた方がよい。 ・文化財保存活用地域計画認定記念事業シンポジウムの門前まち巡見では、市の学芸員の皆さんが案内役となり、若い方の参加も見られた。若い方に伝えることが大事であり、公民館・交流センターでの歴史講座事業など、今まで長期にわたって継続してきたやり方を考える時期に来ているのではないかと考える。若い方に参加してもらえるような講座や取り組み方に変えていく必要があるのではないかと考える。 ・(3)ー1、戸隠地域道路美装化・電柱電線類移設等整備事業について、仁王門前の歩行者の数が非常に増えていると報告があった。道路美装化や電線の地中化等の整備をしたにもかかわらず、車が多く通るようであれば全然意味がないので、歩行者がゆっくり歩いて観光ができる環境を作っていただきたい。特に善光寺御開帳やイベントがあるときは、警察や他の機関と検討してもらい、善光寺周辺を車両通行止め等にするなどで、整備した成果が目に見えて表れるのではないかと考える。 ・各地域で高齢化などが進み担い手が不足する中、長い歴史を紡ぎ背負われた方たちの思いを引き継いでいくため、長野市で人をつないでいくようなフォローアップができないか。中学生とか高校生、信州大学、県立大学、清泉女学院大学の学生の皆さんを絡ませるようなコラボ事業を年に1回でも2回でも実施することで、若い人たちの心を打つことができるのではないかと感じており、何かそういう事業に取り組めないかと考える。 ・イベントに若い方を動員しただけでは、継承につながらないと思う。防災ワークショップに若い方が参加した取り組みのように、参加者が自分ごととして考えるような、若い方にも関心を持ってもらう切り口で若い方の参加を募ったらよいのではないかと考える。 (今後の対応方針) ■ 各委員のコメントを参考として、次年度以降の事業を実施。	